

化学療法プロトコール

申請日： 令和 6年9月20日 申請医師： 熊谷 秀基
診療科： 外科 癌腫： 胃がん
実施区分： 入外共通

| | | |
|--------|---------|--------------------------------|
| 管理番号 | C031730 | レジメン名： ペムプロリズマブ+SP(TS-1:100mg) |
| 1コース期間 | 3週 | 総コース数 |

備考：
TS-1投与基準：BSA<1.25㎡…40mg/回 1.25㎡≤BSA<1.5㎡…50mg/回 1.5㎡≤BSA…60mg/回・オキサリプラチンによる急性の神経障害は投与後数日間に出現しやすい。また、遅発性の末梢神経障害は用量依存性である。Grade3以上で休薬。・オキサリプラチンによるアレルギー症状は初回投与時から出現しやすい。特に6コース以降注意。発現時間は投与30分以内が多い。・前コースでGrade4の骨髄抑制やGrade3以上の下痢出現時はTS-1やオキサリプラチンの1段階減量を考慮。TS-1やオキサリプラチンの1段階減量を考慮。

| 番号 | 薬剤名 | 基準投与量 | 投与量上限 | 規格 | 投与方法 | 投与スケジュール(day1等) |
|----|---------|----------------------|-------|----|------|-----------------|
| 1 | キイトルーダ | 200 mg/body | | 自動 | 点滴 | day1 |
| 2 | シスプラチン | 60 mg/m ² | | 自動 | 点滴 | day1 |
| 3 | ティーエスワン | 100 mg/body | | 自動 | 内服 | day1～day14 |

備考：

実施内容

| | |
|--|--|
| <p>day1 処方 〈内服〉 臨時 〈4mg〉 ティーエスワン錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★化学療法翌日より服用 朝 昼 食後30分 2日 〈内服〉 臨時 ティーエスワン 100 mg/body 朝 夕 食後30分 14日</p> <p>注射 □外来 化学療法実施 〈1〉 点滴 セリョク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★プライミング・ウォッシュアウト用 〈2〉 点滴 キイトルーダ 200 mg/body セリョク(生食) <50mL>◆ 1瓶 ☆30分で点滴 ★0.2μmインラインフィルターを使用す ★希釈後の最終濃度を1～10mg/mLとする 〈3〉 点滴 パロセトロン点滴静注パック 0.75mg/50mL「タイク」 1袋 7カリ点点滴静注235mg/10mL 1瓶 【H】 【6.6mg】 テキサト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 【H】 テキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ☆30分で点滴 〈4〉 点滴 セリョク(生食) 《500mL》 1袋 硫酸Mg補正液2.46g/20mL 0.4管 ☆2時間で点滴 〈5〉 点滴 アピミド注20mg「NIG」(リシックス) 1A セリョク(生食) <50mL>◆ 1瓶 ☆15分で点滴 シスプラチン 60 mg/m² セリョク(生食) 《500mL》 1袋 ★全量500mLに調製：シスプラチン使用量分の生食を抜去 〈6〉 点滴 セリョク(生食) 《500mL》 1袋 ☆2時間で点滴 〈7〉 点滴 セリョク(生食) 《500mL》 1袋 ☆2時間で点滴</p> | |
|--|--|